

- 気候危機に加え、ロシア・ウクライナ情勢を契機としたエネルギー危機に直面し、長期化する懸念
- 国からは今夏、今冬における電力需給についての厳しい見通しが示されるなど、電力需給が一層ひっ迫する可能性
- こうした問題を乗り切るためには、住民に身近な区市町村との連携が重要であり、都民・事業者等と一体となってHTT<Ⓜ減らす Ⓜ創る Ⓜ蓄める>の取組を強力に進めていくことが不可欠
- この一環として都民・事業者等に向けた普及啓発に取り組んでおり、ご協力をお願いしたい

家庭向け

- ✓ 家庭向けに電気代を削減しながら、健康で快適、レジリエンスも高い暮らし／住宅を実現していく

主なメニュー

- Ⓜ減らす：エアコン、冷蔵庫の買い替えや断熱改修等
- Ⓜ創る：太陽光発電やエネファームの導入等
- Ⓜ蓄める：蓄電池やZEV、外部給電器の導入等

事業者向け

- ✓ 事業者によるコスト削減とサステナブルなビジネススタイルへの移行を促進していく

主なメニュー

- Ⓜ減らす：空調・換気設備の導入や省エネコンサルの支援等
- Ⓜ創る：再エネ発電設備や業務・産業用燃料電池の導入等
- Ⓜ蓄める：蓄電池やZEV、EVバス、外部給電器の導入等

都と区市町村との連携を通じ、都民・事業者等にHTTの取組等への普及啓発を展開

都民・事業者へのキャンペーン等の展開(案)

- 今夏の電力ひっ迫等の回避に向け、あらゆる機会を活用してHTTの取組を中心にPRを実施
- 区市町村、関係団体等との連携や、都独自の取組等により集中的かつ重層的なPR展開を通じ、効果的に都民・事業者に訴求

今夏をターゲットにした主な取組（実施時期：6～8月頃）

区市町村・関係団体等との連携

- ✓ 区市町村や関係団体等多様な主体のご協力をいただき、**地域のイベントの場や、地域住民の生活・事業者の活動の場などをお借りしたPRを展開**
- ✓ 都の政策連携団体等を活用し、区市町村職員の皆様をはじめ関係者の理解を増進

主な活用の場（想定）

区市町村民まつり、商工まつり、農業まつりなど
地域のイベントの場

自治会、商工会等による
清掃美化活動、花と緑の活動等の場

東京都気候変動適応センター等が実施する
区市町村職員向けセミナー等の場

都独自のキャンペーン

- ✓ **通勤・通学客等をターゲットに主要駅でチラシ・ティッシュ等の配布等を通じたPRを展開**
- ✓ 都営地下鉄・ゆりかもめ・りんかい線・多摩モノレール等の主要駅構内で、**都職員により実施**
- ✓ 時期ごとにキャンペーンテーマを設定し、集中的なPR等により取組の浸透を図る

キャンペーンテーマ（案）

第一弾	アンペアダウン(6月下旬～)
第二弾	HTT「減らす」(7月～)
第三弾	HTT「創る・蓄める」(8月～)

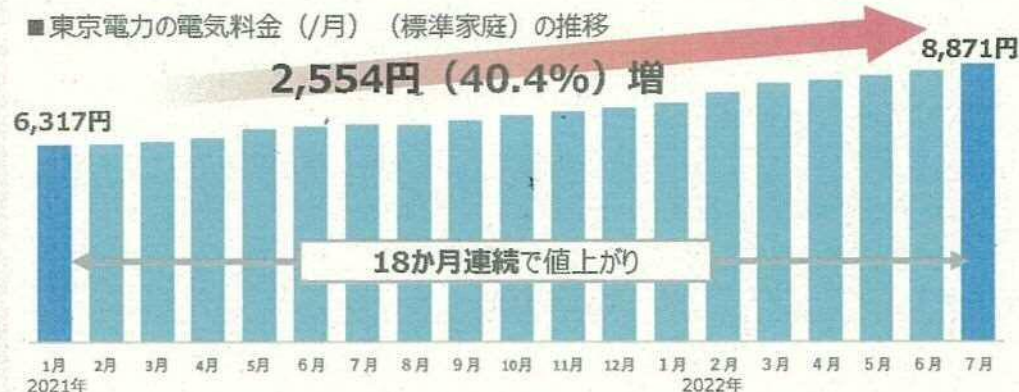
多様なPR展開を通じ、都民・事業者にHTTの取組等のきめ細かな浸透を図る

H T Tの推進に向けた取組の背景

- ✓ 新型コロナウイルスの世界的な蔓延に加え、ロシアのウクライナ侵攻に伴い、原油高騰やガスの供給不安など、エネルギーを取り巻く環境が大きく変貌しました。
- ✓ 電気料金は、過去5年間で最も高い水準となっており、更なる上昇が見込まれます。
- ✓ 電力需給見通しによれば、今後見込まれる最大の電力需要に対して供給がひっ迫し、特に冬季の消費電力のピーク時間帯では電力が不足する可能性があります。
- ✓ このことから、より一層の節電・省エネへの取組が必要です。



電気料金は過去5年間で最も高い水準、更なる上昇も懸念



夏の電力需給は予断を許さず、冬の電力はひっ迫の見通し

